

1. ブレーキ調整

ブレーキは重要な保安部品であるため、作業に自信がない方は近隣の修理店や自転車の修理が可能な方に相談してください。また、この手順書はメンテナンス方法の参考資料を目的として作成しており、作業は自己責任にてお願いいたします。

1.1. ブレーキキャリパー位置調整

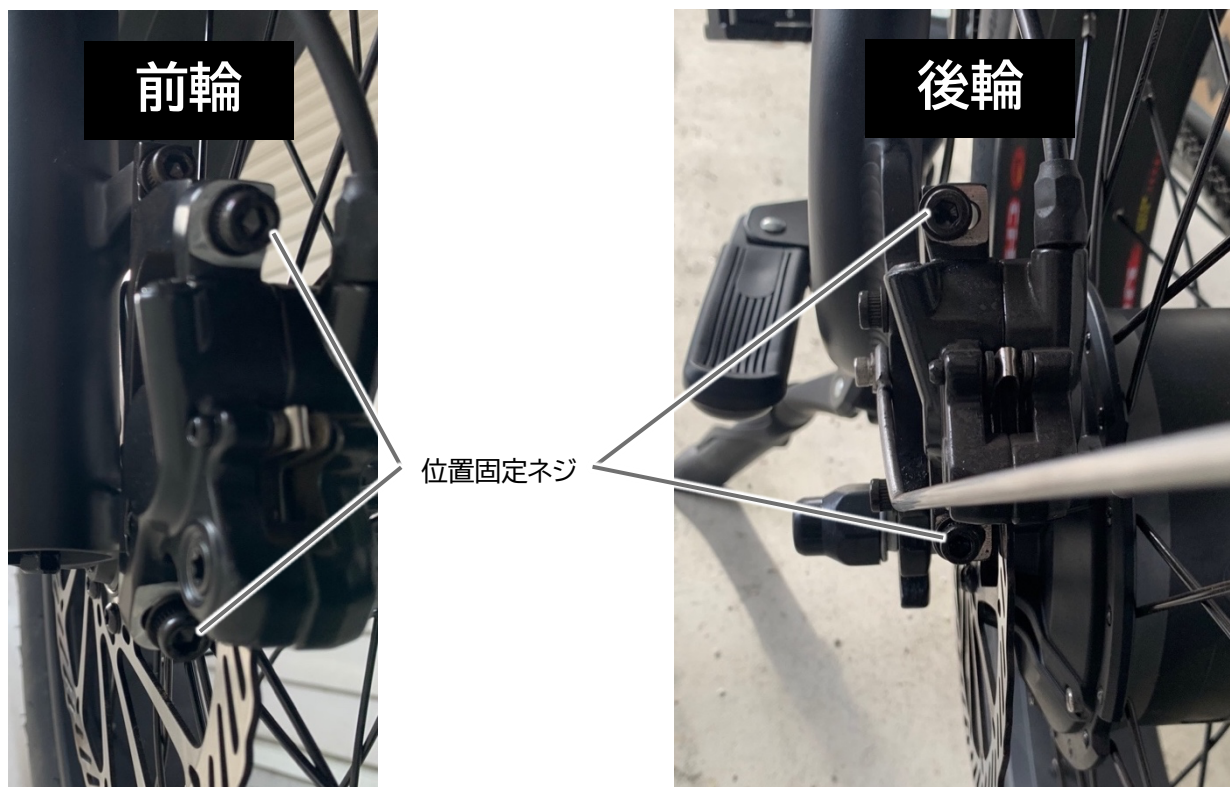
ブレーキキャリパーの位置調整はホイール付け直し、ブレーキパッドが減るなどして、ブレーキパッドがブレーキディスクを左右均等に押さえられなくなった場合に実施します。作業は手袋の着用を推奨します。

注意:

ブレーキキャリパー、ブレーキディスクは油厳禁です。手の脂がついてもブレーキの効き異常や異音の要因となりますので、ご注意ください。

① ブレーキキャリパーの位置固定ネジを緩める

ブレーキキャリパーの位置固定ネジをキャリパーが手で動く程度に緩めます。



② ディスクローターセンターリングツールを、ブレーキパッドとブレーキディスクの間に差し込む

ディスクローターセンターリングツールは無くても調整は可能ですが、このツールがあるとより正確かつ簡単に位置調整が可能です。

*ディスクローターセンターリングツールがない場合は、作業完了後にブレーキディスクがブレーキパッド間の中心に来ること確認してください。中心にない場合は再度①の手順から調整してください。



③ ブレーキレバーを握ったまま固定し、①で緩めたネジを締める

*S1-1000 は CBS のため、左のブレーキレバーを握って前後とも調整可能です。

*S1-600 は前輪が右のブレーキレバー、後輪は左のブレーキレバーで調整が可能です。

*この時、ブレーキレバーはブレーキが軽く効く程度にすると精度が上がります。

*ネジを締める際はネジロック剤(Henkel 社の LOCTITE243 などの中強度タイプ)を使用すると、振動などで緩みにくくなります。



ブレーキを握ったままネジを締める
一人で作業する場合はゴムバンド等を使用してレバーを固定してください。



1.2. ブレーキディスクの歪み調整

タイヤ回転時に周期的に擦ったような音がする場合、ブレーキディスクの歪みが発生している可能性があります。

注意:

ブレーキキャリパー、ブレーキディスクは油厳禁です。手の脂がついてもブレーキの効き異常や異音の要因となりますので、ご注意ください。

- ① タイヤを回転させて、音がする位置を確認します。
- ② 音がする位置でブレーキディスクとブレーキパッドの左右の隙間を確認します。
- ③ 音がする位置でブレーキディスクとブレーキパッドの隙間が左右両方にできるようにブレーキディスクを少しずつ曲げます(歪みを補正します)。*この時、ブレーキディスク歪み補正ツールの使用をお勧めします。
*手で曲げる際はブレーキディスクに油が着かないように手袋などを使用してください。



1.3. ブレーキディスクの洗浄

ディスクブレーキを誤って手で触ってしまったり、汚れがつくとブレーキの効きが悪くなったり、キー音などの異音の原因となります。

注意:

ブレーキキャリパー、ブレーキディスクは油厳禁です。手の脂がついてもブレーキの効き異常や異音の要因となりますので、ご注意ください。

- ① ブレーキに使用可能な洗浄剤(和光ケミカル社の BC シリーズなど)をブレーキディスクに吹き付け、すぐに拭き取ります。
*この時、フレームやゴムパッキンなどに付着しないように気をつけてください。

不明点等ございましたら、以下のメールアドレスから弊社サポートまでご連絡ください。

sales@mavericktechnology.jp